

(2面から続く)  
 通り、小田急相模原駅方面に向かいます。そして、小田急線を渡り、行幸道路を左折した後、南下して、再度県道座間大和線の相武台団地入口を左折し、カーサ相模台前から

## 保護者との連携で学力向上

稲垣議員(公明党)  
 学力向上への取り組みについて

全国学力テストで、毎年トップクラスの秋田の子供たちは、塾にもほとんど行かず、特別な学力向上対策もしていませんが、試験は時間の最後まで諦めずにやり抜きます。そして、秋田では毎日必ず三十分以上勉強する習慣があり、「早寝早起き朝ごはん」運動

## 職員の賭博問題を質す

中澤議員(日本共産党)

市長の政治姿勢について  
 新聞には「座間市役所で賭博」「二十年前からやってきた」「部次長ら七人書類送検」「市長が陳謝」「市長、厳正に対処」などの見出しが踊っています。私は、この種の事件は過去の例に照らし、本市の信用失墜行為として市民の不信を買ひ、税金や公共料金を扱つて窓口などにその影響が出てくることを懸念して、重く受け止め厳正に対処することを求めて、代表者会議の席上や今議会の総括質疑でもこの立場から取り上げてきました。

市長は、本事件の真相を究明し、市民に公表するとともに再発防止に努めるべきです。  
 市長 公務員として言語道断な行為で、職員を管理・監

現在の小松原・相模が丘循環コースに合流して市役所までというコースを考えています。便数は一日四便で、運行開始は十一月一日、バス停は新コースの部分について八カ所を予定しています。

## 核兵器のない世界を

守谷議員(日本共産党)  
 非核平和行政について

核廃絶の国際世論が高まっている中、来年ニューヨークで核不拡散条約(NPT)再教育長 家庭との連携が非常に大事ですので提案された三点について、今後教育委員会と学校両方で取り組んでいきます。

## 特別支援教育に

安海議員(神奈川ネット)

特別支援教育について  
 不登校・いじめの発生のもとには発達障害や家庭事情、集団不適応などの原因が考えられ、今までにない新しい概念の障害をもつ子どもが増加しています。そのような子どもたちを含め、どの子にもわかる授業で学びの権利を守り学習の満足度を上げる努力が求められる中、本市でも小中十三校に特別支援教育補助員が配置されましたが、十分とは言えません。補助員増と研修、情報の共有化、教育コ

## 全ての「口利き」文書化を

竹市議員(民主・市民連合)

情報公開に関して  
 口利き行為に関する情報の文書化については五回にわたって議論し、「職務に関する不当な働きかけの記録等取扱要綱」として一定の成果は見ましたが、記録されるのは明らかに違法な行為や威圧行為に限られ、職務権限の範囲内だと判断すれば記録に残り

ません。市民要望の扱いについて共有化し透明化する意味から、あらゆる口利き行為について文書化が必要だと考えますが、見解を求めます。  
 市長 行政執行の公明正大化は絶対必要なことだという面、平成十五年に企画部長名で各所属長あてに作成が依頼された「苦情・要望等受付処理簿」に基づいて対応する

兵器をなくすビジョンを打ち出している平和市長会議があります。逗子市や秦野市などが加盟しています。本市も加盟してはどうでしょうか。さらに、被爆地を訪れることで認識が高まると考えます。市長はオバマ大統領のプラハの演説を評価し、署名しました。この署名を市の窓口に置くことや、市役所の一角に署名のコーナーを設けることはどうでしょうか。また、二〇二〇年までに核

## 市民活動のさらなる充実を

佐藤議員(政和会)

市民活動サポートセンターの充実について  
 以前、市民がボランティアやサークルなどの活動をする際の窓口は、それぞれの担当課に分かれていましたが、それを一本化し、各種団体や各公共施設なども連携をとり、より利用しやすく、活発な市民活動になるようにとの目的で、市民活動サポートセンターが設立されました。現在、設立から一年が経過しましたが、各課や各施設、団体など

## 市道新田宿二十五号線の舗装を整備を

長谷川議員(政和会)

西部地域の道路アクセスについて  
 現在、さがみ縦貫道、国道二百四十六号バイパス厚木秦野道路が計画路線として事業が推進中です。このさがみ縦貫道が開通すれば、西部地域の交通量が今以上にふえることが予測されることから、新田宿の道路の見直しと改善について質問します。道路整備については優先順位が必要ですが、特に地域住民の強い要望である新田宿二十五号線

## 「ふれあい収集」の実施を!

小野議員(公明党)

住みよいまちづくりについて  
 ごみを集積所まで持ち出すことが困難な高齢者世帯や障がい者世帯などを対象に、「ごみ収集を戸別に玄関先まで出向いて行う「ふれあい収集」が全国的に広がっています。本市の六十五歳以上の高齢者は、平成二十年度で二万二千六百三人、高齢化率一七・七%、高齢者人口の推計は、平成二十年度には三万五千八百一人、率として二四・二%、まさに四人に一人が高齢者となります。このような状況の中、決められた日に自分ごみを集積所まで出すことが困難な高齢者、障がい者が今後さらに多くなると予測されます。また、玄関先まで運び出しができない粗大ごみについては深刻な状況です。行政として、市民に温かい手を差し伸べ、「ふれあい収集」を速やかに実施すべきと思います。

市道新田宿二十五号線の舗装を整備を  
 現在、さがみ縦貫道、国道二百四十六号バイパス厚木秦野道路が計画路線として事業が推進中です。このさがみ縦貫道が開通すれば、西部地域の交通量が今以上にふえることが予測されることから、新田宿の道路の見直しと改善について質問します。道路整備については優先順位が必要ですが、特に地域住民の強い要望である新田宿二十五号線

空き店舗活用促進事業について  
 市内の商店街では、大型店舗の進出等により顧客が減り、さらに、後継者問題も加わり多くの商店街で撤退する店舗が増加しています。そんな中で、空き店舗を活用した取り組みが積極的に行われていきます。地域によってはコミュニティ

## 保育園の待機児解消を

柏木議員(日本共産党)

子育て支援の強化について  
 本市の保育園入所待機児は今年四月一日三十九人、九月一日百六十六人で、四月の四倍以上でした。一歳児は四十六人、二歳児は五十人もいます。不況の影響で共働き家庭が増加傾向にあり、次世代育成支援アンケートにも保育園が足りない、四月以外入園できないなどと書かれています。待機児解消策は四月の待機児数ではなく三月を基本として早急に策定を求めます。

## 空き店舗活用促進に対する考えは

飛田議員(市政クラブ)

空き店舗活用促進事業について  
 ティサロンを新設し、地域社会づくりに取り組まれている店舗があるほか、地域相談や子育て、児童の駆け込みなどに使用したいとの意見もありません。商店街地域アップ活動や空き店舗活用活性化事業、空き店舗活用促進事業などに

## 環境経済部長 「ふれあい収集」については、改めて調査検討して対応していきたい。

環境経済部長

「ふれあい収集」については、改めて調査検討して対応していきたい。

また、リストラなどで失業し、二カ月たつても就職できない場合、その月末での退所に異議申し立てしないという誓約書を出させています。本来なら子どもさんを見るから安心して仕事探しを、と言える保育行政であるべきです。  
 市長 待機児解消については、年度末には限度を超える入所希望となります。このことを深く認識し取り組みたい。  
 保健福祉部長 誓約書については求職活動を助案しながら対応していきたい。